
◎2014/2/14 本学のテニュアトラック制度についての評価を実施しました

2月14日（金）東京医科歯科大学テニュアトラックシンポジウム終了後、評価諮問委員会が開催されました。本委員会では学外アドバイザーパネルを含む評価諮問委員により、本学テニュアトラック制度の取組みに対して様々な観点から審査（評価）を行うものです。

客観的な視点で評価を行うことによって、事業の推進を図るとともに今後の課題点を明確にする狙いがあります。

当日は、木村彰方評価諮問委員長（本学 評価担当副学長）が議長を務められ、評価諮問委員会に加えてテニュアトラック運営委員、テニュアトラック教員、海外からも2名のアドバイザーパネルをお招きして、英語での活発な意見交換がなされました。



はじめに、本学テニュアトラック運営委員から、テニュアトラック制度の実施状況の詳しい説明があり、その後、テニュアトラック教員への質疑応答が続きました。

緊張した面持ちのテニュアトラック教員でしたが討議が進むにつれ積極的な発言が増え、本制度をさらに良いものにしていこうとする意気込みが、委員の皆様及びテニュアトラック教員から伝わってくる有意義な委員会になったかと存じます。

最終的にテニュアトラック教員の支援を含めて高い評価をいただきました。

さらに、評価諮問委員会の意見や助言を反映させ、より一層良い制度とするように要望がありました。